

2018年度 一貫指導委員会内役割分担について

一貫指導委員長 益子 倫暢

(構成員)

委員長	益子 倫暢	栗沢	中学校	副委員長(高校部)	藤盛 竜太	岩見沢緑陵	高校						
				副委員長(中学部)	太田 幸子	北村	中学校	池津 卓弥	清園	中学校			
				副委員長(小学部)	石田 敏	ゆうばり	小学校						
委員	瀬戸 房代	美唄聖華	高校	秋葉 俊範	東光	中学校		南部 一弘	夕張	中学校			
	住田 利和	光陵	中学校	出口 昌文	栗山	小学校		阿部 駿也	豊	中学校			
	山本あさ子	上幌向	中学校	竹居田太一郎	南幌跡-センター			吉田 香純	美唄東	中学校			
	上羽 愛子	明成	中学校	澤田 康二	北海道立教育研究所								
	戸澤 麻衣子	緑	中学校	一本木岳民	南幌	中学校							
	村山 拓司	上幌向	中学校	室 静	北村	中学校							

1、大会運営について

一貫指導主管行事に関して委員会内で協力し運営にあたることを基本とする。小中高大の連携も視野に入れて運営にあたる。

① 主催大会に関して

1) 小学校関係

大会に関しては、小連で行っているので、審判関係等協力できる部分は協力していく。

2) 中学校関係

ア、主管大会の総務に当たったものを中心として以下の内容に取り組む。

- ・ 当番学校の部員および顧問は、大会会場の準備に積極的に関わるようにする。
- ・ 大会案内、集約、プロ作成、トーナメント表、当日大会運営、後片付け、会場との連絡、会計、決算、試合結果FAX、協会への結果連絡等一切の業務にあたる。
- ・ 大会業務に関しては、当番校間でファイルを引き継ぐ。
- ・ 大会結果及び決算報告は大会終了後、関係書類をつけて総務委員会に報告・提出すること。
- ・ 栗沢交歓大会(女子)夏・冬については当番校は栗沢中学校とする。また、当番校枠として栗沢中学校は本大会に参加できる。

3) 高校関係

ア、一貫指導として主催する大会はないので、岩見沢協会主催の運営に協力していく。

- ・ 高校大会関係の会計に関しては総務委員会に任せる。

② 主催事業に関して

1) 小学校関係

小学校夏冬バレーボール教室に関しては小学校関係の指導者で運営する。中高大の連携も考えながら運営する。

2) 中学校関係

ア、ジュニア1次キャンプに関して

- ・ 春の伝達講習会には一貫指導委員全員が参加することとする。
- ・ 道コーチ資格講習会も兼ねているので、総務的内容に関しては一貫指導委員長が行う。計画・運営については副委員長が行う。
- ・ 指導に関しては一貫指導委員全員で行う。

イ、選抜選考会に関して

- ・ 総務的内容に関しては、一貫指導委員長が行う。選考に関する計画・運営に関しては一貫指導委員会副委員長が行う。

3) 高校関係

ア、強化練習会に関して

- ・ 中学選抜チームとの交流を含め、協会内のチームのレベルアップを推進する。大学生の参加も視野に入れて運営する。

③ 連携事業に関して

- ・ 小中高大の連携を基本習得の場面でも強化の場面でも積極的に取り合う。

④ その他

1) 小学校関係

- ・ 小学校の先生方が中心となるが中学校の先生方も極力協働体制をとる。

2) 中学校関係

- ・ 南空知で当番を受け持たなければならない中体連大会においても、専門委員長と連携を図り出来る限りの協力をしていく。

- ・ 【W.T.O.】の扱いは、原則4月以降の岩見沢協会主催の大会から中体連まで適用。秋季新人戦から3月までの岩見沢協会主催の大会については適用しない。